

平成 29 年 3 月 14 日
国立情報学研究所
学術コンテンツ課

平成 29 年度 SPARC Japan 活動計画（案）

第 5 期基本方針のもと，平成 29 年度は次のプロジェクトを実施する。

（１）SPARC Japan セミナー 2. ①②への対応

アドボカシー活動として，SPARC Japan セミナーを数回実施する。平成 28 年度同様に企画ワーキングを設置し，年間テーマを策定の上，年間テーマに沿って，各回の企画・実施を行う。また，ドキュメントを作成してウェブサイトで公開する。

（２）海外動向調査 2. ③④への対応

2017 年に予定されている下記の国際会議に参加し，情報収集を行う。

- ・ RDA (Research Data Alliance) 9th Plenary Meeting 2017
4 月 5-7 日，バルセロナ
- ・ COAR (Confederation of Open Access Repositories) Annual Meeting 2017
4 月 8-13 日，ヴェニス
- ・ IDF Strategic Meeting at KISTI 6 月，デジョン，ソウル
- ・ OR2017 6 月 26-30 日，ブリスベン
- ・ RDA (Research Data Alliance) 10th Plenary Meeting 秋，北米か
- ・ PIDapalooza 1 月，アメリカ西海岸か
- ・ IDF Strategic Meeting 1 月，アメリカ西海岸か

（３）arXiv.org コンソーシアム事務局 2. ①②への対応

arXiv.org のコンソーシアム事務局として，arXiv.org の事務局とコンソーシアム間の連絡・意見調整を行う。

（４）SCOAP³ 支援 2. ①②への対応

SCOAP³ フェーズ 2（2017-2019 年）に係る日本のとりまとめを行う。

（５）CLOCKSS 支援 2. ①②への対応

CLOCKSS の 2017 年会員制モデルへの参加の意向および連絡先を確認し，CLOCKSS の事務局と日本の参加機関との連絡調整を継続する。

(6) 論文公表実態調査 2.④への対応

平成 28 年度に引き続き、JUSTICE と連携し、日本の論文公表実態調査のフォローアップを行う。

(7) SPARC Japan 年報の発行 2.②④への対応

SPARC Japan に関するニュースはウェブで広報する。また活動記録のために報告書を発行する。各回のセミナーの記録および基礎情報のまとめ等を整理し、年 1 回の形で発行する。